

産業 情報

いわて

Vol.

99

2010.JUN
平成22年6月10日

月刊

地元の
みなさんから協力を得て、
アイデアと
フットワークで勝負！

加工作業を請け負う
「二戸たんぼぼ」では
楽しく作業中！

2 岩手の底デカラ 支援企業紹介

特集

株式会社リード

4 平成21年度 (財) いわて産業振興センター
サービス利用満足度調査結果

お知らせ

- 6 地域中小企業知財戦略コンサルティング事業
- 7 平成22年度
地域見本市等出展費用助成事業募集中です
- 8 賛助会員告知コーナー



岩手の底チカラ

支援企業紹介

岩手県二戸市

株式会社リード

Power of business human in Iwate

市場のニーズを見極め、使用者からの要望を商品の魅力に転換する発想力と、行動力

加工製造・販売の提携企業、(株)飯島産業岩手工場のスタッフと戸泉社長。飯島産業の飯島専務(写真右から3番目)も共に、試作品の制作や販路開拓にあたってきた。

岩手県二戸市の株式会社リードが企画・販売を行う「ほっと安心帽」。販売開始からわずか2か月で、幼稚園での採用や通信販売の取扱開始など話題を集めている。幅広い発想とマーケティング、性能を追求する姿勢がヒット商品を生み出す鍵だった。

安全を守りながら、日常の暮らしの中で使える「ほっと安心帽」

従来、安全を守る帽子としては、工事現場などで使用されるヘルメットや、介護用のヘッドギア、防災ずきんなどが知られている。これらの用途別・機能重視の帽子は、ある特定の場面での使用が想定されている。そのため、デザイン性が低かったり価格が高かったりと、日用品としての帽子とは異なる市場で販路を展開してきた。

このような機能重視の帽子の「安全を守る」という特長を持ちながら、デザインや価格を日常生活で使用できるものに限りなく近づけた商品が、株式会社リードの「ほっと安心帽」である。

使う側の要望やニーズを見極め、努力を怠らない商品開発を展開

「商品開発をしていく中で、ヒット商品になる要素を見つけることは難しい。しかし、ヒットしない要素を一つひとつ削ることで、

売れる商品に近付けることはできる」。2007年の会社設立当初、「ほっと安心帽」の試作品をもって臨んだ東京の展示会を振り返り、戸泉社長はこう語る。日常使える帽子に安全性という付加価値を付ける、この着眼点には多くの賞賛が寄せられた一方で、重さや通気性、デザインなどに関して「果たして実用的か？」との疑問も投げかけられた。そこから戸泉社長の試行錯誤が始まった。安全性を保ったまま、軽くて通気性に長け、デザインを損なわない素材を探しては、実験や試作を重ねた。はじめはゴルフ場のキャディ帽程度の衝撃吸収性を目指していたが、実験を繰り返すうちに、独自の3層構造により外部からの衝撃を布製帽子の20分の1に抑え、キャディ帽をも超える衝撃吸収性を実現した。

通気性の面では提携企業である(株)飯島産業の協力も得ながら試作を繰り返し、生地の継ぎ目にメッシュ素材を採用することで解決に至った。この技術により特許を出願し、オリジナリティを保つ努力も忘れていない。

今月の表紙

株式会社リードの戸泉社長と素材加工を請負う「二戸たんぼほ」のスタッフ。「一つひとつの作業が細かい上に手間もかかる、しかしながら真摯に取り組んで下さるんですよ」と戸泉社長。施設のスタッフも「この不景気の中でご縁があったことは、嬉しい限りですね」と語っていた。

私の仕事は知恵を絞ることです、と戸泉社長は語る。当初は介護や防災用の帽子を想定していた「ほっと安心帽」だが、現在は別のニーズに向けた商品開発に力を入れている。小学生や幼稚園児向けの黄色い帽子や、子ども用の野球キャップなどがその一例。従来、普通の布製帽子が大半を占めていた市場に、「ほっと安心帽」を送り込む。子どもの安全を願う親の気持ちをニーズと捉え、使用する子どもや購入する親の立場で多面的にマーケティングを展開した。どこにニーズがあり、どのような商品を、どうやって販売するかを考えることや、独自性を守る意匠登録や特許出願もマーケティングの一環だという。

積極的に行動し、センターの支援のもとさらなる進化を

積極的に行動を起こしているところには有益な情報も集まってくるといい、戸泉社長はこれを「万有引力の法則」と呼ぶ。「考えているだけでは周りしか見えないかもしれない、けれどもそこから1歩進むことで新たな展開が見えてくる」。衝撃吸収素材の加工についても、以前つながりのあった二戸市の障がい者活動支援センター「二戸たんぼぼ」に、自ら出向いて発注を行った。

創業当初から進み続けた今、衝撃吸収とい



株式会社リード

【代表取締役】戸泉 秀明
 【所在地】二戸市米沢字家ノ上39-1
 【電話】0195-23-5526
 【URL】<http://www.hot-anshin.com/>

代表取締役 戸泉 秀明

1956年東京都墨田区生まれ。学習院大学経済学部卒。HOYA（株）勤務の後、岩手県に移住。縫製会社経営などを経て2007年に株式会社リード設立。2009年10月岩手県発明くふう展にて東北経済産業局長賞受賞、同年11月いわてビジネスプラングランプリ受賞。「ほっと安心帽」は来年度、二戸市の新入生に配布される予定である。

う機能を高めつつ、重さや衛生面にも改良を加えた新たな素材を追究すべく、今後は東北大学との共同研究を行う予定になっている。

産業振興センターとは、研修などを通じて創業以前からつながりがあった。専門家派遣の際に「岩手県発明くふう展」や「いわてビジネスプラングランプリ」への出場をアドバイスされ、いずれも最高賞の栄冠に輝いた。使う人の立場に立った商品開発が高く評価された結果だった。「たくさん行動を起こせば失敗も多くなる。しかし、産業振興センターの方々をはじめ周囲が、方向性は間違っていないと推してくれたことを信じてやってきた」。今後もさらなる進化を重ねるであろう株式会社リード。「ほっと安心帽」が広く採用され、子どものより高度な安全が守られる日も近いかもしれない。

< P.3 写真 >

1	4	5
2	3	6

1. 地域活動支援センター「二戸たんぼぼ」では、5名ほどのスタッフが素材加工の作業を行っている
2. 「ほっと安心帽」を採用している二戸市内の幼稚園
3. 色・形・サイズともにバリエーション豊富な商品展開の「ほっと安心帽」
4. 帽子のサイズや使用部位に合わせ、一つひとつ丁寧に型が取られていく
5. 加工作業のもととなる帽子型は、戸泉社長いわく「虎の巻」
6. (株) 飯島産業では、縫製加工を担当。大企業のユニフォームなども手掛けるこの工場で、「ほっと安心帽」が製造されている



サービス利用満足度調査

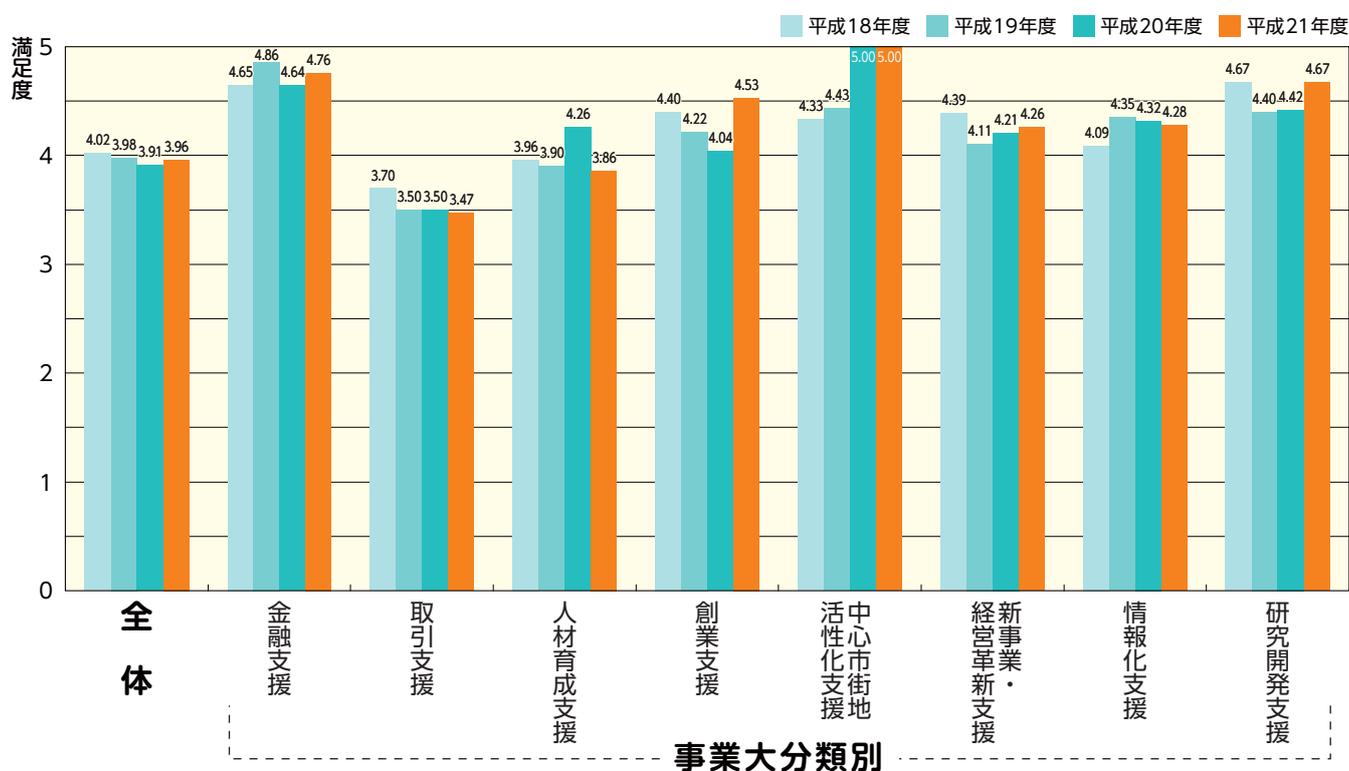
調査結果

総合満足度 **3.96** (20年度は3.91)
 回答率 **54.2%** [986 / 1,819]
 (20年度は52.7% [966 / 1,833])
 満足度算出方法 満足(ウエイト:5)から不満(ウエイト:1)までの回答の加重平均により算出

調査目的

センターが提供したサービスへの満足度及びその理由等の調査を行い、その結果をサービス内容・方法の検討に資することにより、センターのサービス内容の充実及び質の向上を図ることを目的とする。

サービス利用満足度調査結果



事業大分類の構成事業

回答数 / 顧客数、() 書きは、回答全体に占める構成比 / 顧客全体に占める構成比 ※印の事業は、開催時等に調査

金融支援 38/75 (3.9% / 4.1%)	設備貸与等事業 資金貸付事業	新事業支援・ 経営革新支援 179/392 (18.2% / 21.6%)	総合相談 専門家派遣事業 (中小ベンチャー) 専門家派遣事業 (地域力連携拠点) いわて希望ファンド いわて農商工連携ファンド 結いの市試験販売※ 商品化プロデュース事業 展示会出展支援
取引支援 442/775 (44.8% / 42.6%)	取引あっせん (発注・受注) 集団あっせん会議 (発注・受注) ※ 北東北3県合同商談会 (発注・受注) ※ 盛岡商談会 (発注・受注) ※ 自動車関連産業創出推進支援事業	情報化支援 18/34 (1.8% / 1.9%)	図書・ビデオ等貸出
人材育成支援 63/139 (6.4% / 7.6%)	いわてものづくりアカデミー※	研究開発支援 9/17 (0.9% / 0.9%)	研究開発支援 地域中小企業知的財産戦略支援
創業支援 235/385 (23.8% / 21.2%)	いわてビジネスグランプリ いわて起業家大学※ 起業家支援セミナー※		
中心市街地活性化支援 2/2 (0.2% / 0.1%)	中心市街地活性化推進事業		

(速報値)

【調査概要】

1 実施時期：平成22年4月26日～5月12日

その他 ※集団あっせん会議、起業家育成塾等は実施時に調査。

2 対象者：平成21年度内に当センターの提供するサービスをご利用いただいた企業・個人等

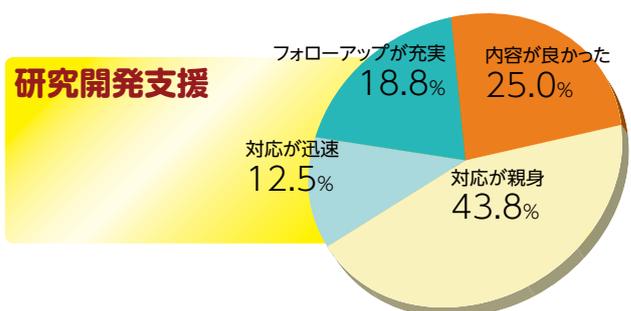
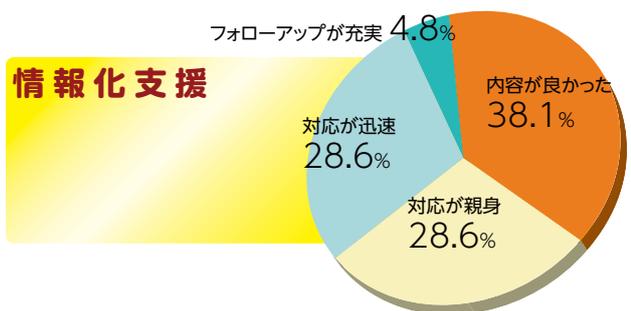
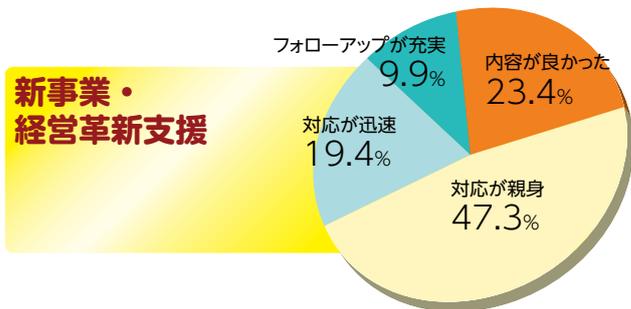
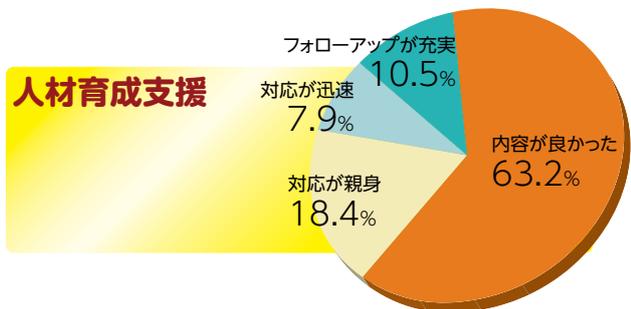
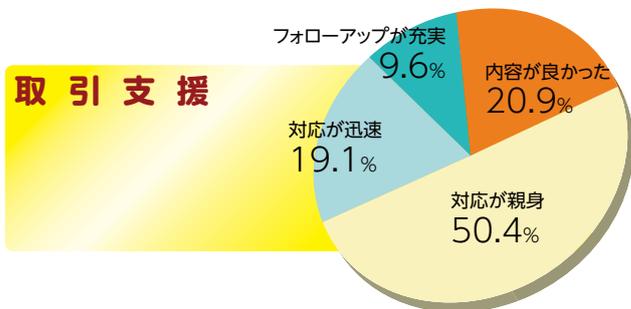
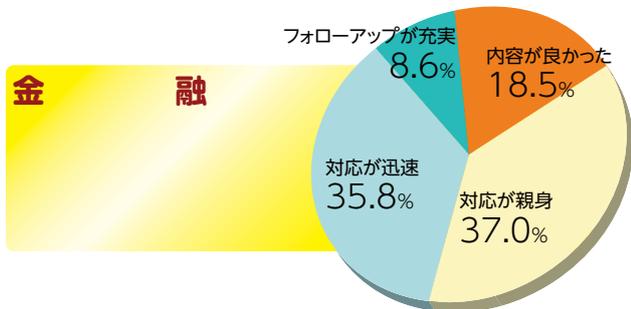
3 項目：サービス利用の満足度（5段階）及びその理由、センターに対する要望・意見

4 昨年からの変更点：①二戸交流会事業・ジョブカフェ（若者・中小企業ネットワーク）事業の削除

②いわて農商工連携ファンド事業、商品化プロデュース事業、いわて起業家大学事業の追加

結果

満足の理由：事業大分類別



分析結果

(1) 全体の満足度は昨年度の3.91から3.96へと上昇し、3年連続していた低下傾向を脱した。この要因としては、主に以下の2点が考えられる。

- ①全回答総数の45%を占める取引支援の満足度が3.50から3.47と小幅の減少に留まる推移となったこと。
- ②全回答総数の24%を占める創業支援の満足度が4.06から4.53と大幅に上昇したこと。

(2) 昨年度より満足度の向上したものは事業大分類別で「金融支援」「創業支援」「新事業・経営革新支援」及び「研究開発支援」。逆に低下したものは、「取引支援」「人材育成」及び「情報化支援」である。「中心市街地活性化支援」はほぼ変わらなかった。

(3) 調査対象件数は、1,833件から1,819件と前年並みに推移したが、回答率は52.7%から54.2%と上昇した。回答率は17年度事業の調査開始以来一貫して上昇傾向を示しており、当センターのサービスへの期待と関心の高まりが感じられる。

今後の取組み

- ・全体的に依然満足度要因のうちフォローアップの評価が低いので、企業訪問等により顧客ニーズの把握に務める。
- ・ほとんど全ての事業の満足要因で「対応の迅速」さが評価を増したことから、サービス迅速化に一層努める。
- ・個別の御意見等への対応について、各担当グループ毎に対応策等の検討と対策の実行、回答等を進めていきます。

○お問い合わせ先：特命担当グループ

TEL. 019-631-3820

FAX. 019-631-3830

皆様からいただいた御意見とそれに対するセンターとしての回答・対応策等、詳細につきましては、今後当センターのホームページに掲載してまいります。

<http://www.joho-iwate.or.jp/ci/>

地域中小企業知財戦略コンサルティング事業

① 地域中小企業知財戦略コンサルティング事業とは

岩手県内の中小企業の方に、知的財産や技術動向の調査・分析等を行う知的財産の専門家を一定期間集中的に派遣し、中小企業の方が保有している知的財産を、戦略的に経営に活用するための支援を行うものです。

③ 支援内容

知的財産専門家を派遣し、以下のような支援を組み合わせることで、特許を核とした知的財産戦略の策定を支援いたします。

なお、下記に該当する場合でも、特許出願料等の支援は対象になりません。

○特許分析の支援

(例)「特許マップ作成」、「特許流通支援チャートの活用法」

○特許戦略策定の支援

(例)「出願方針の決定」、「知財の保護」

○事業化に向けた特許評価の支援

(例)「事業化計画の策定」、「特許権の担保価値の判断」

② 対象企業

- ① 中小企業支援法第2条に定める「中小企業者」で、岩手県内に事業所があること
- ② 知的財産を戦略的に活用し、経営の向上を目指す意欲があること
- ③ 策定された知的財産戦略を実行することにより、支援の効果が期待できること
- ④ 独自の技術基盤を持ち合わせていること

特許調査
技術動向調査
新規性調査
公知例調査
権利侵害調査

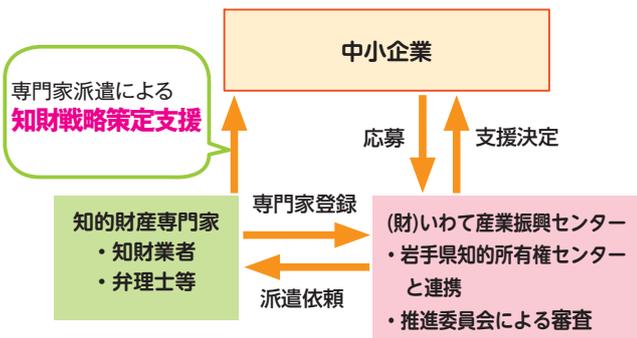
特許マップ作成
・特許流通支援
チャート等の活用
による議論・分析

知的財産戦略策定
- 研究開発戦略
出願戦略
ライセンス戦略
保護戦略
事業化戦略

○事業の核となる技術に関する調査・分析、またその分析内容に基づいた経営戦略の策定について、派遣する知的財産専門家と共に取り組んでいただきます。

○知的財産戦略は、最終的には企業の経営戦略の柱になるものとされており、事業終了後も策定した戦略を常に見直しながら経営に反映するように活用してください。

④ 事業フロー・事業計画



(1) 支援期間

平成22年8月～平成23年2月（予定）

(2) 専門家派遣回数

支援対象企業に対する支援内容により異なりますが、10回程度を予定しております。

(3) お申し込み方法

派遣要請書に必要事項をご記入のうえ、当センターまでご提出ください。

■締切り **6月30日(水)**

(4) 事前ヒアリング及びプレゼンテーション

要請書受理後に、事務局によるヒアリングを実施いたします。また、本事業の推進委員会で知的財産戦略策定への取組方針等についてプレゼンを行っていただきます。

(5) 支援の決定と派遣する専門家

支援の可否については、推進委員会にて審議のうえ決定されます。

また、派遣する知的財産専門家について、推進委員会で決定しますが、申請時に希望する専門家をご指定いただくことも可能です。

⑤ 知的財産専門家とは

- ・ 知的財産に関する知識を有する弁理士・弁護士・中小企業診断士等
- ・ 特許等の調査や特許マップ作成等、特許情報面での支援を行っている調査業者
- ・ 特許等の価値評価を行っている業者
- ・ 信託、証券化等による資金調達支援を行っている業者
- ・ 技術導入や技術開発を中心とした企業経営のコンサルタントを行っている業者

⑥ 事業費について

本事業における事業費の対象となる経費は、専門家の派遣に要する経費（謝金、旅費）です。

また、謝金及び旅費は、当センターの規定によりお支払いいたします。

なお、1社あたりの事業費の総額は、300万円（消費税分を除く）以内です。

⑦ 経費の負担について

対象企業には、専門家の派遣に要する経費の1/5をご負担いただきます。

■お申し込み・お問い合わせ■

派遣要請書に必要事項をご記入のうえ当センターまでご提出ください。派遣要請書は、当センターのホームページよりダウンロードできます。

<http://www.joho-iwate.or.jp/info/chizai00.html>

※派遣要請書にご記入いただいた個人情報は、本事業実施にかかる業務にのみ使用し、第三者への提供はいたしません。

財団法人いわて産業振興センター 産業支援グループ

担当：山根

〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 岩手県先端科学技術研究センター2F

平成 22 年度

地域見本市等出展費用助成事業

募集中です



(財) いわて産業振興センターでは、首都圏で開催される見本市、展示会等に出席を希望する県内企業様に対し、出展料（小間代）の一部または全部を助成する「地域見本市等出展費用助成事業」を実施することといたしました。

貴社の販路開拓の一助とするため、積極的にご活用されますようご案内申し上げます。
なお、助成対象等は以下のとおりです。

**1 企業からの申し出があったもので、
出展効果大きいとセンターが判断するものとします。**

2 助成対象者

県内に事業拠点を置く中小企業であって、次の条件を全て満たしている事を条件とします。

- (1) 助成を受けようとする見本市等への出展物が、製造業である場合は県内下請企業で製造された部品、完成品及び技術開発製品であり、全国販売（取引）展開の可能性が高いこと。また食品加工業である場合は、県内で加工し、全国販売展開の可能性が高い商品・加工品であること。
- (2) 助成を受けようとする見本市等への出展に際し、他機関等の助成を受けていないこと。
- (3) 助成を受けようとする見本市等が助成申請以降に開催されるものであり、かつ、申請の時点で主催者に出展料を支払っていないこと。
- (4) 助成を受けようとする見本市等が平成23年3月18日までに終了するものであること。
- (5) 原則として昨年度、当該助成を受けていないこと。

3 助成対象経費及び金額

- (1) 助成の対象とする経費は見本市等の主催者が定める出展料（小間代）とします。
- (2) 同一企業に対する限度額は200,000円とし、金額の範囲内で複数の見本市等または複数小間の助成を認めます。
- (3) 本年度の助成対象企業は5社程度を予定しています。

4 申込方法

「出展費用助成申請書」に助成を受けようとする見本市等の「出展案内」及び「出展申込書」の写しを添付して当センターに提出してください。

※申請書は以下の URL からダウンロードをお願いします。

出展費用助成申請書

<http://www.joho-iwate.or.jp/chiikimihonichi/>

問合せ・申請書提出先

〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2
財団法人いわて産業振興センター
産業支援グループ 担当：三上、村上
電話 019-631-3822
FAX 019-631-3830

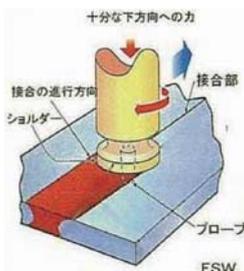
岩手県奥州市前沢区

株式会社千田精密工業

第14回機械要素技術展に出展します！

平成22年6月23～25日の3日間、東京都のビッグサイトで機械要素と機械材料・加工技術などの主要企業が一堂に集結する「機械要素技術展」が開催され、当社もいわて産業振興センターと岩手県ブースに共同出展します。

当社の強みである五軸MC、大型五面加工機技術を初め、国際的に注目されているFSW（摩擦攪拌溶接）等の固有技術をご紹介しますので、皆様ぜひ、ご来場ください。



会社情報

代表者名	代表取締役 千田 伏二夫	従業員数	80名
事業内容	半導体製造装置及び、液晶関連装置等の各種精密機械部分加工	住 所	〒029-4208 奥州市前沢区五合田19-1
		T E L	0197-56-2464
設 立	1983年12月	F A X	019-56-2418
資 本 金	8,000万円	U R L	http://www.chidaseimitsu.com/

岩手県盛岡市

4月に入会いただきました

有限会社親和自動車整備工場

豊かなカーライフのために
当社がお手伝いいたします

当社は全国1500社が加盟する「ロータスクラブ」の一員です。自動車整備をはじめ、新車・中古車の販売、部品交換など、自動車に関するあらゆるご相談を承ります。「ロータスシンワ」をよろしく願い申し上げます！



会社情報

代表者名	荒川利彦	従業員数	32名
事業内容	自動車整備、钣金塗装、新車・中古車販売	住 所	〒020-0826 盛岡市神子田町21-10
		T E L	019-651-5488
設 立	昭和49年11月	F A X	019-654-1541
資 本 金	800万円	U R L	http://www.shinwa-car.co.jp/

いわて産業振興センターでは、賛助会員を募集中です！

年会費 2万円

このページで告知してみませんか？

賛助会員特典

『産業情報いわて』誌上での「賛助会員紹介」掲載
(この最終ページです)
「いわてものづくりアカデミー」受講料20%割引
企業信用情報の代行検索・料金割引

いわて産業振興センターでは「賛助会員制度」を設け、センターの活動趣旨に賛同いただける会員の皆さまに入会いただいております。

今年度から、この広報誌に、本ページ上にあるような「賛助会員紹介スペース」を設けることとなりました。1社1/4ページのスペースで掲載することができます(掲載月、順番等は当センターが調整します)。広報等にご活用下さい。

このほか、賛助会員の皆さまには、「いわてものづくりアカデミー」受講料20%割引、企業信用情報(東京商工リサーチ・帝国データバンク)の代行検索と料金割引(限度あり)などの特典もあります。会費は年2万円です。

まだ会員でない方は、この機会にご検討ください。

問い合わせ先

総務・金融グループ

TEL 019-631-3820

http://www.joho-iwate.or.jp/sanjo/